



# やまだ

## 議会だより

### シリーズ 家族の笑顔

長崎地区在住の山崎さん家族。  
長女の栄奈ちゃん（写真右端）は東  
日本大震災の年に生まれ、今年度、  
小学校に入学しました。（関連記事P  
20）

No. 159

2018.5.1発行  
岩手県山田町議会



火葬場条例を可決

「やまだ斎苑」供用開始 - 2P

30年度当初予算278億円を可決 - 5P

町の考えは 一般質問に10人の議員が登壇 - 8P

町の未来を語りましょう

町民と議会の意見交換会を開催します - 20P

3月  
定例会

# 「斎苑」供用開始

## 3月 定例会の あらまし



平成30年3月定例会は2月13日から3月12日まで28日間にわたって開かれ、初日には30年度の町長施政方針が述べられました。  
町長提案の議案36件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜4頁)

30年度予算8件は、予算特別委員会を設置して3日間にわたって集中的に審議し、全て原案のとおり可決しました。(5〜7頁)  
一般質問では10人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(8〜18頁)

**こ**れまで37年の長きにわたり織笠地区で稼働してきた「山田町斎場」が名称を新たに「やまだ斎苑」とし柳沢地区に新築移転され4月1日から供用が開始されました。

**新**境との調和を図り、最新の技術を用いた火葬炉設備を配したものであります。供用開始に合わせて使用料も左の表のとおり改定されました。

区 分	山田に住所がある者または死亡時に山田に住所があった者	その他の者
	改定前 ⇒ <b>改定後</b>	改定前 ⇒ <b>改定後</b>
16歳以上の者	5000円 ⇒ <b>1万5000円</b>	1万5000円 ⇒ <b>2万円</b>
16歳未満の者	4000円 ⇒ <b>1万円</b>	1万2000円 ⇒ <b>1万5000円</b>
死産児および上記以外	3000円 ⇒ <b>6000円</b>	1万円 ⇒ <b>1万2000円</b>

# 新火葬場「やまだ」



## 住居表示区域における字の区域を変更

**山** 田地区内で整備が進む震災復興土地区画整理事業などにより、道路の位置や街区割りに変更が生じたことから、住居表示区域内における字の区域の変更を全員賛成で可決しました。

**区** 域を変更する字の名称と編入する字の区域は左の表のとおりとなります。

区域変更する字の名称	左欄に掲げる字に編入する字の区域
北 浜 町	中央町の区域の一部
八 幡 町	後楽町、中央町および川向町の区域の一部
中 央 町	八幡町および川向町の区域の一部
川 向 町	八幡町、長崎一丁目および境田町の区域の一部
長崎三丁目	八幡町、川向町および長崎一丁目の区域の一部
長崎一丁目	川向町、境田町および飯岡第2地割の区域の一部
境 田 町	川向町、長崎一丁目、飯岡第1地割および飯岡第2地割の区域の一部

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り全て1万円未満切り捨てです。

## 林産物展示販売施設の指定管理者を指定

**林** 産物展示販売施設は道の駅やまだ内にあり、町で生産された農林水産物、商工物産、加工品などを販売しています。

**指** 定の期間は30年4月1日から33年3月31日までです。

**現** 在の指定管理者である山田町特産品販売協同組合の指定期間が3



町で生産された農林水産物、商工物産、加工品などが購入できます

定例会や臨時会などの議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、6月下旬ころから、議会ホームページ、ふれあいセンターで閲覧可能となる予定です。

# 被災商工業者に仮設施設の無償貸付けを決定

**震** 災により被災した商工業者などに対し、

独立行政法人中小企業基盤整備機構が整備し町へ贈与された仮設施設を引き続き無償貸付けすることが賛成多数で可決されました。

(※賛成7、反対2)  
※議長は採決に加わらない。

また、この議案では3人の議員を除く(審議の公正を期するため、一定の利害関係のある議員を審議に参加させない)としている。

**【概要】**

▽貸し付ける財産および貸付けの相手方  
町内15カ所、43業者  
▽貸付期間  
30年4月1日

**【質疑応答】**

**問** 貸付期間が約4カ月と細切れの気がする。それ以降の貸付けは。

**武藤水産商工課長** 退去期限を7月31日と定めており、それぞれの事情に応じた協議はしている。

**問** 準備期間が短い気がするが、事業者は納得しているか。

**水産商工課長** 7月退去は昨年度説明し、各事業者の相談に応じている。

**問** 退去後の建物はどうなるのか。また、事業者の中で再建先が決まっていないのは何事業者か。

**水産商工課長** 退去後は解体となる。現時点で再建先が決まっていないのは7事業者である。

**問** 移転費用は事業者と町、どちらの負担か。

**水産商工課長** 町の事情による場合には、検討が必要かと思っている。

**問** 7月以降、すぐに使わない土地については残せないか。

**水産商工課長** 仮設施設の利用目的が終わった場合、基本的には解体すること考えている。

**問** 再建先が完成するまでの間だけでも仮設施設を使えないか。

**鈴木副町長** 仮設施設が建っている土地の工事や

再建先の整備など、さまざまな中で退去期限をバラバラに案内するのは公平性が保てない部分も出てくると思い、7月31日という期限を示し、そこまでは安心して入居できるということである。まず目標として、この期日まで再建に向かって検討を進めていくことを町も事業者と一緒に考えていく。

## 討論



木村洋子議員

### 貸付期間の延長を

まず事業者との協議が不十分である。また、再建先が決まらない事業者もあり、7月退去は時期尚早。貸付期間の延長が最良の選択であり、国は検討期間に入ったと聞く。期間延長を望む。

## 定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

**■土地を売り払いを決定**  
岩手県立山田病院用地のため、土地を売り払うことを決定しました。  
面積 1万1019平方メートル(約3333坪)  
価額 1億9283万円  
相手方 岩手県知事 達増拓也

**■町道の路線を認定**  
復興事業により整備する山田第3団地内道路について、5つの路線を新たに町道として認定しました。

**■29年度一般会計補正予算を可決**  
収入見込額、執行予定額を基に予算の調整を行うための補正予算(第7号)が提案され、39億8937万円減額し、補正後の金額を365億2862万円としました。

## 第1回臨時会 (1月29日)

議案3件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

**■JR交差部における二道橋整備業務の変更協定を締結(織笠地区)**  
▽変更前協定期間  
29年3月24日

▽変更後協定期間  
30年3月30日  
29年3月24日

▽協定の相手方  
東日本旅客鉄道株式会社  
社 東北工事事務所  
(宮城県仙台市)

**■29年度一般会計補正予算(第6号)**  
▽補正額 7984万円  
▽補正後金額 405億1800万円

**■29年度漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)**  
▽補正額 299万円  
▽補正後金額 1億4371万円

—夢なき者に成功なし—

復興計画の最終章「発展期」スタート

# 魅力と活力にあふれた

# 町づくりに挑戦

30年度予算について、予算特別委員会を設置して3月8日から12日まで審議し、全8会計を原案のとおり可決しました。

30年度予算と委員会での審議の概要をお伝えします。

**30年度一般会計予算 278億3587万円**



学校給食センター建設 8億2187万円

32年の完成に向け、建築工事を進めます。  
(写真は大浦小学校の調理室)

## 30年度の 目玉事業を ピックアップ。

30年度に実施を予定している多くの事業から、注目の事業を取り上げてお知らせします。



飯岡コミュニティセンター建設 9853万円

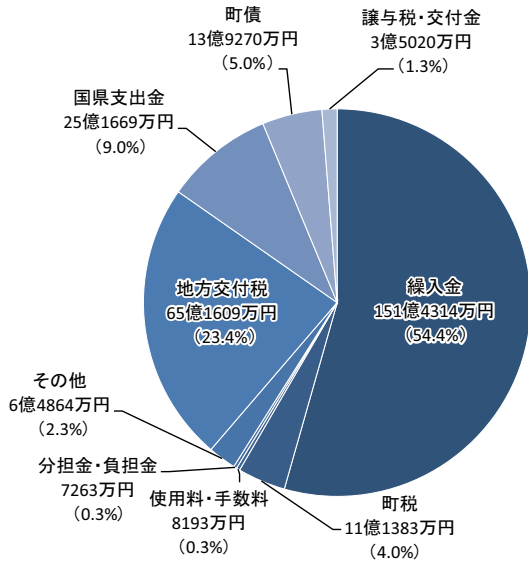
被災した飯岡コミュニティセンターの調査設計および建設工事をします。(写真は建設予定地)



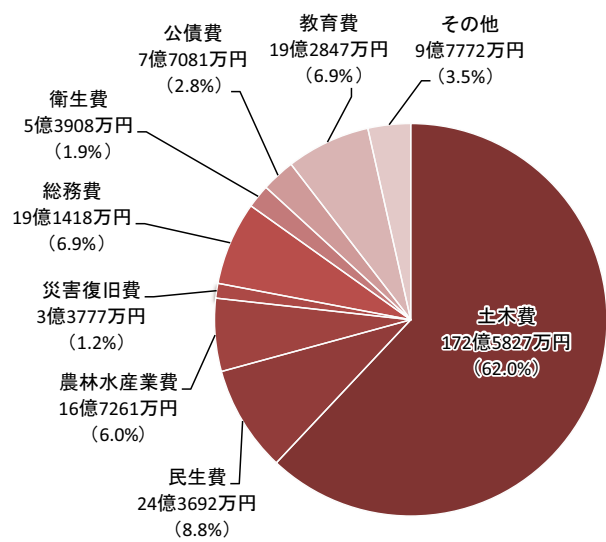
埋蔵文化財収蔵庫建設 3億6478万円

復興事業の発掘調査で出土した埋蔵文化財を収蔵し、保管するため収蔵庫を建設します。

入ってくるお金（歳入）



使うお金（歳出）



※グラフ中の数字は、端数処理の関係から合計と一致しない場合があります。

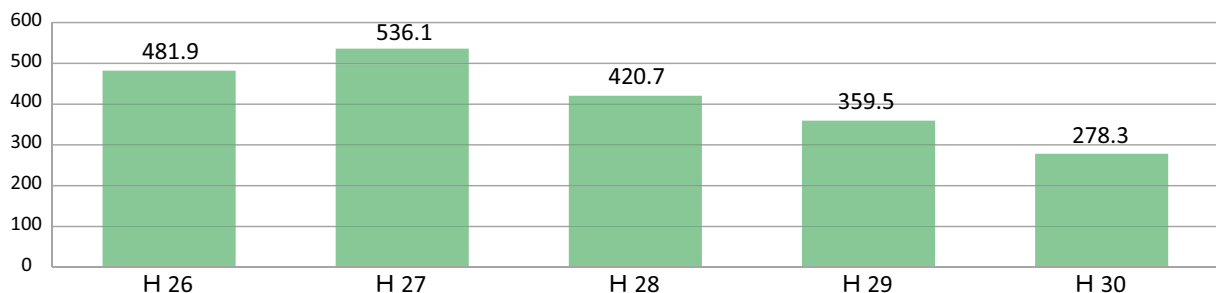
◆ 一般会計 内訳（金額・説明）

項目		30年度	29年度	比較増減	項目の説明
歳入	繰入金	151億4314万円	197億1655万円	△45億7341万円	他会計や基金などから繰り入れたお金
	町税	11億1383万円	11億591万円	792万円	町民税など町に納められるお金
	使用料・手数料	8193万円	6404万円	1788万円	公の施設の使用などで払われるお金
	分担金・負担金	7263万円	6831万円	432万円	受益の限度において徴収するお金
	地方交付税	65億1609万円	77億4114万円	△12億2505万円	市町村の均衡を図るため国が交付するお金
	国県支出金	25億1669万円	45億5479万円	△20億3810万円	町が行う事業に国、県が交付するお金
	町債	13億9270万円	14億7110万円	△7840万円	町が借り入れるお金
	譲与税・交付金	3億5020万円	3億3210万円	1810万円	市町村の均衡を図るため国が交付するお金
	その他	6億4864万円	8億9800万円	△2億4935万円	財産収入や諸収入などのお金
	合計	278億3587万円	359億5197万円	△81億1610万円	
歳出	土木費	172億5827万円	230億2469万円	△57億6642万円	道路などのインフラ整備に使われるお金
	民生費	24億3692万円	24億5495万円	△1802万円	福祉の向上に使われるお金
	農林水産業費	16億7261万円	23億6895万円	△6億9633万円	農林水産業の振興に使われるお金
	災害復旧費	3億3777万円	23億2691万円	△19億8913万円	災害を受けた箇所を直すためのお金
	総務費	19億1418万円	22億217万円	△2億8798万円	一般事務や復興事業などに使われるお金
	衛生費	5億3908万円	12億1403万円	△6億7495万円	健康増進や生活環境改善に使われるお金
	公債費	7億7081万円	7億7696万円	△614万円	借りたお金の返済に充てるお金
	教育費	19億2847万円	7億4859万円	11億7987万円	教育振興に使われるお金
	その他	9億7772万円	8億3470万円	1億4302万円	商工費・労働費・議会費などのお金
	合計	278億3587万円	359億5197万円	△81億1610万円	

※表中の合計は、端数処理の関係から一致しない場合があります。

◆ 一般会計当初予算額の推移

（単位：億円）



※これは当初予算額の比較であり、最終的な予算額ではありません。

観光

海洋性体験型観光拠点施設建設工事費

3500万円

**問** どのような施設を建設する予定か。

**水産商工課** 浦の浜海水浴場の管理棟およびトイレなどの隣に、40艇程度のシーカヤックが入る艇庫と研修室を備えた建物を建設する。

**問** 研修室をどのような用途に使用するかのご想定はあるか。

水産商工課

シーカヤックに伴う研修や海の体験などを予定している。今後、実際に運用する中で観光客の誘致などに生かせるような使い方をしていきたい。

**要望** 実際にシーカヤック関連や体験観光関連で動く方々の意見が大事になってくると思う。意見交換を密にし、使いやすく、観光客の誘致に結びつくような施設を造ってほしい。

医療

新生児聴覚検査費

102万円

**問** 新しい事業だと思いが、詳しい内容は。

**健康子ども課** 新生児が聴覚検査を受けたときに1万3860円を限度に補助するものである。

**問** 大事な検査だと思いが、周知はどのようにするのか。

**健康子ども課** 妊娠届提出時に案内を配布し勧奨したいと思う。

**要望** 案内の配布も良いと思うが、妊婦健診のときにも口頭で呼びかけると良いと思うので、検討をお願いしたい。

暮らし

結婚新生活サポート

312万円

**問** 以前質問したときには、所得制限があるという事だったが、活用状況はどうか。

**健康子ども課** 29年度の実績は3件あった。該当になる方には案内を送り、申請するように勧奨している。

**問** 3件の実績があったということだが、対象となるのは何件なのか。

健康子ども課

対象者については転入者もあり、所得条件などを調べられなかったが、広報などの結婚欄を見て事業の案内を送っている。所得の件に関しては申請者の所得証明書で判断している。

**要望** これは町として定住者を増やしたいということでも取り組んでいる。若い世代は使ったほうが良い。所得制限はあるが、分かりやすく説明して、できるだけ使えるようにしてほしい。



討論

《一般会計》

反対

木村洋子議員

被災事業者に無理を強いるような方策はやめるべき

当初予算には仮設施設撤去工事費4400万円が盛り込まれているが、資金問題などで本設店舗へ移行できずに悩んでいる事業者に対し7月末退去は無理があり、無謀である。仮設施設の入居期間を延長すべきである。私たちは東日本大震災で亡くなった人たちの思いをつなぎ、被災者が復興を成し遂げる支援をしていかなければならない。仮設施設退去を迫られている事業者は生業再生の困難さを訴えており、退去を急がせ無理を強いるような方策はやめるべきである。

※賛成討論なし

各会計の予算額と採決結果

会計名	30年度予算額	29年度予算額	増減(%)	採決結果	
一般会計	278億3587万円	359億5197万円	△22.6%	賛成多数	
特別会計	国民健康保険	23億3207万円	30億4952万円	△23.5%	全員賛成
	後期高齢者医療	1億7042万円	1億6086万円	5.9%	〃
	介護保険(事業勘定)	18億3320万円	18億7492万円	△2.2%	〃
	介護保険(サービス事業勘定)	217万円	250万円	△13.2%	〃
	漁業集落排水処理事業	1億5989万円	1億4130万円	13.2%	〃
	公共下水道事業	4億6058万円	4億2610万円	8.1%	〃
水道事業会計	収益的支出	3億6576万円	3億6024万円	1.5%	〃
	資本的支出	9億4347万円	7億6840万円	22.8%	

※1万円未満切り捨て

# ～町政を問う～

## 一般質問 10人登壇

3月定例会での一般質問は、3月2日と5日の2日間に行われ、10人の議員が54件の一般質問をし活発な議論が展開されました。

質問議員 (質問順)	質問事項	掲載 ページ
関 清貴	○集会施設の整備等について ○交通体系等について ○起業支援について	9
山崎 泰昌	○被災消防屯所の整備について ○人口減少対策等について ○教育行政について	10
木村 洋子	○水産振興について ○町内のインフラ整備について	11
阿部 幸一	○子どもの医療費助成現物給付化について ○災害公営住宅の家賃軽減と除雪について ○壁面タイプの水道メーター設置について ○仮設施設の7月退去について	12
田老 賢也	○環境整備について ○山田町の経済について ○コミュニティについて	13
佐藤 克典	○健康と福祉の充実について ○観光の振興について ○町ホームページについて ○まちなか交流センターの管理運営について	14
尾形 英明	○大沢浜川目地区の海岸防潮堤について ○農林業の振興について ○交通網について ○学校教育について	15
坂本 正	○豊間根三鉄駅舎付近に公衆用トイレの設置について ○山田北インターのフルインター化について ○町道白山・船石線の歩道設置について ○火災予防対策について ○応急仮設住宅集約化計画の見直しについて ○豊間根地区の排水路整備について ○外国語指導助手や学校支援員の増員について	16
黒沢 一成	○道路整備について ○思いやり政治について ○火災予防対策について	17
菊地 光明	○紳士協定について ○仮設・みなし仮設の状況について	18
	○津波記念碑等について ○町民体育祭の開催について	
	○施設の長寿命化等について ○観光振興について ○埋蔵文化財について	

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。議員の質問時間は1人25分以内で、町側の答弁時間は含みません。



# 第7分団屯所の整備予定は

## 総合計画（後期）で検討



被災し老朽化する第7分団屯所の整備が望まれる



議員 関 清 貴  
( 政 和 会 )

**問** 震災で被災した第7分団消防屯所は老朽化が進み、団員が休息する場所も狭く、駐車場も不足し、大雨の際は周辺に水が溜まる。整備予定はあるか。

**佐藤町長** 駐車場が狭いことなど問題点があることは承知している。新築移転については、今後検討していきたい。

**問** 検討する具体的年度を示されないか。

**小林消防防災課長** 今後、更新計画を作成していきたい。

**問** 更新計画の作成はいつか。

**甲斐谷復興企画課長** 30年度で復興工事をほぼ完成させ、その後の町づくりを考えていかなければならない。第7分団屯所については、総合計画の後期基本計画（33年度以降）で検討していく。

# 道路拡幅し利便性の向上を

## 十分な幅員が確保されている

**問** 国道45号から龍昌寺までの道路は震災前と形状が変わらない。復興も終盤に差し掛かり、新たな道路整備は今において難しいと思う。住民の安全と利便性を図るための道路を拡幅する考えはな

いか。  
**町長** 国道から約4メートルの区間は区画整理事業で6メートルに拡幅される。区画整理事業区域

入っていない。  
**問** 津波だけでなく大火も経験している本町にとって火防線の役割を果たすと思うが、今の状況で良いか。  
**建設課長** 十分な幅員が確保されている。

拡幅の考えはない。  
**問** 国道側の区間が区画整理事業で、龍昌寺側の区間が事業に入らなかったのはなぜか。

**川守田建設課長** 被災していない建物が残っているというところで事業に

**建設課長** 交通規制の設定については公安委員会が決めることになる。

# 仮設撤去後の校庭の整地は

## 不具合がない復旧に努める

**問** 学校敷地内の応急仮設住宅が撤去され用地は復元されるが、校庭と一体的に整地することができ

ないか。  
**町長** 応急仮設住宅用地は県が原形復旧を行う。教育委員会、学校長と協議しながら子どもたちが安心して活動できる校庭

に任せるということか。  
**芳賀建築住宅課長** 任せ

### その他の質問

- ◆ 山田第1団地集会所建築開始年度は
- ◆ 子育て世代に対する住宅支援は
- ◆ 起業支援の内容は
- ◆ 学校給食に地元食材の活用は

# 漁業を守る施策は

## 的確な対応に努める



山崎 泰昌 議員  
(政 和 会)

**問** 岩手の漁協は小さな漁村単位で形成されている。国は集約化を望んでいるが町としての対応は。

**甲斐谷副町長** 他の事例を見れば、簡単には一般企業の受け入れはできない。地元の漁業者、漁協、県漁連の意見を聞きながら、行政として今後の漁業の発展について考えていきたい。

**問** アワビ放流事業は有意義な事業であるが、稚貝をもっと成長させてから放流してはどうか。

**甲斐谷副町長** 大きくして放流すれば収穫は上がるが、効率の問題があり、専門家の意見を聞いた上で、調査、検討をしたい。

**問** 少しの事例でも、検討する事や対応しなければならぬ事が多い。水産業を支援するために水産課を復活させては。

**佐藤町長** 復興完遂後を見据えた行政組織の見直しは必要であり、町の活性化推進や社会経済情勢の変化に対応するための機構改革については、今後検討していく。

**問** 水産労働人口確保のため、町が外国人労働者を受け入れ団体との窓口になつて漁協や個人業者にあつせんする体制はつくれないか。

**鈴木副町長** 外国人労働者の受け入れについては制度上のこともあり、現時点ではお答えできない。

### 町内駅舎の今後は

#### 現在協議、検討中

**問** 船越、豊間根駅は放置されたままで外観も美しいとは言えないが。

**町長** JR東日本から譲渡される見込みであり、現況を確認し、必要に応じた修繕などを行う。

**問** 整備するに当たり、両駅ともトイレの新設を要望するが。

**甲斐谷復興企画課長** 駅、観光客あるいは地域、どの扱いにするかでさまざまな考え方がなる。観光を進めていく中で、トイレがないのはどう

るが対応は。  
**復興企画課長** 東西から入場できるように進めている。

**問** 二線橋が高く、高齢者や体の不自由な方が大変だと考えるが。  
**町長** 今後、ホームとホームを結ぶスロープの設置について国交省東北運輸局と協議を進める。

### 鯨館周辺の土地活用を

#### 公園機能の増進となれば可能

**問** 鯨と海の科学館も完成し公園も整備された。利用客を増やすため飲食店や商業施設等が建てられるよう要望しては。

**町長** 都市公園内の機能の増進に資すると認められる場合などは飲食店および売店などの設置ができることとなっている。



31年3月供用開始の山田駅

医療費助成現物給付化

# 小学生まで拡大すべきでは



木村洋子 議員  
(日本共産党)

## 本町の意向は「賛成」である

**問** 就学前までの医療費助成の現物給付化は歓迎されており小学生まで拡大すべきである。拡大されれば保護者の経済的かつ精神的負担軽減になり子育て世帯への大きな支援となるのでは。

**佐藤町長** 現物給付化は、子育て支援の有効的手段であると考えられることから、県に対し、各種団体などから対象拡大について請願・要望が出されている。現在、各市町村の意向調査が実施されている。今後、県を中心に協議、調整が行われる見通しであり、その結果を踏まえ対応していきたい。

町はどのように返事をしたか。

**昆町民課長** 賛成であると答えた。

### 仮設施設の退去問題 事業者に寄り添った対応を

#### 個別に必要な対応を行う

**問** 7月末で仮設から退去と言われている事業者数と本設移行への課題は。

**町長** 1月末現在107事業者である。課題として事業の継続を決めかねている方、再建の意向はあるものの再建先が見つからない方がいること。

**問** 再建したいが再建先が未定の事業者数は。

**武藤水産商工課長** 14事業者である。

**問** 事業継続を希望する事業者に寄り添ったきめ細やかな対応をしているか。

**町長** それぞれが抱える問題について、随時相談に応じながら、町有地の公募状況やグループ補助

金の支援制度を説明するなど、個々の事業者ごとに必要な対応を行っている。

**問** 仮設施設退去の問題は本町に限らず被災の大きかった市町村では同じ悩みを抱えている。国も動き始めて入居期間延長の検討に入っている。町は7月退去ありきで動いていないか。要望書なども出ている。退去により事業継続できなくなれば、町や水産業の衰退につながる。時期尚早であり事業者に寄り添っていると言えないのでは。

**水産商工課長** 事業者に常に寄り添った形で、今後も協議をして進めていくよう努力する。

### 織笠大橋の歩道設置は

#### 実現は困難と聞く

**問** 織笠大橋に歩道がないため、以前より歩道を設置してほしいとの町民の声がある。歩行者などの安全確保のため、歩道の設置を国や関係機関に要望すべきでは。

**町長** 三陸国道事務所に よると、現状で歩行者などの利用が少ないこと、改修には多額の費用が見込まれることから実現は困難であると聞いている。歩道設置の要望は、今後の状況を見ながら判断していく。



織笠大橋の歩道設置は町民の悲願

# 流木撤去は

## 5月をめどに処分



阿部幸一議員  
(新 生 会)

**問** 昨年の台風被害で岸壁に揚げた流木について現在もそのまま放置しているが、いつまで放置している考えか。今では一般廃棄物と産業廃棄物も捨てられているが詳しく示せ。

**佐藤町長** 大沢漁港や船越漁港に陸揚げされた流木については、県で平成30年5月をめどに処分することとされている。時間の経過とともにタイヤやロープ類などのゴミが、流木の仮置場所に捨てられていく状況であったことから、早急に処分するように県に要請を続けてきたところである。



早急に撤去が必要な流木等

一般質問

### 林地開発の調査結果は

#### 県で違反行為と認定

**問** 浦の浜地区の林地開発については岩手県による現地調査が終了したようだが、その結果について詳しく示せ。

**町長** 宮古農林振興センター林務室からの情報によると、船越地内におけ

る林地開発行為1件について、昨年末に1ヘクタールを超える林地開発違反行為と認定し、現在、違反行為者に対し行政指導を行っていることである。

### 30年度の経済の見通しは

#### 経済規模の縮小が予想される

**問** 30年度の町の経済はどのようになる見通しか町の考えを示せ。

**町長** 現在の景気動向を示す指標の一つである有効求人倍率が1.52倍と、28年度の平均1.41倍を上回る水準となつている。

また、住宅建設については、山田地区の宅地完成により、引き続き、堅調に推移するものと見込

んでいる。

しかしながら、復興事業が徐々に完了し、関連業種の受注の縮小や町内の事業者の減少により、町の経済規模が縮小することが予想される。

町税収入も、31年度から減少すると見込まれることから、その動向に十分注意しながら町政の運営に当たっていききたいと考えている。

# 新ホームページの仕様は

## 分かりやすい構成にしたい

**問** 町ホームページを改修する予算が計上された。改修の動きが出たことは大変喜ばしいが、どのようなホームページにするのか。また構築や管理はどこが行うのか。

**町長** 情報を容易に入手でき、分かりやすい構成にしたい。構築、管理は事務の効率化や専門性を考慮し、委託する方向で検討している。

**問** 専門的な知識が必要であり委託に賛成。ツイッターなどのSNSとの連携、外部の観光関連団体ホームページとの連携や町有施設のインターネット予約など、必要と思われる機能は多いが、それらについてはどのような対応を取るのか。

**佐々木総務課長** 今後、新しくホームページの構築を進めていくわけであるが、その中で関係課と協議をし、意見を取り入

れながら、検討を進めていきたい。

## まちなか交流センター 運営方法見直しを

### 可能な限り見直していく

**問** まちなか交流センターの予約は、施設ではなく役場庁舎での申し込みが必要で、申込期限も数日前でなければならな

いなど、現状は利用者にとって不便である。また使用料の支払いも金融機関へ出向く必要があるなど課題が多い。見直しす

**町長** 申請業務については、使用許可の事務手続きを伴うことから、町が受け付けを行ってきたところである。今後の管理運営については、施設で申請受け付けができるようにするなど、可能な限り見直していく。

## 観光へ海童丸の活用を

### 運行できるように準備

**問** 昨年引き渡しが完了した海童丸について、各種観光への活用予定は。

**町長** 湾内を利用する観光客の受け入れやオランダ島への定期的な運航ができるようにするため、航路事業申請などの準備を進め、活用できるように取り組んでいきたい。

**問** 現在、学生の学習旅

行などの大人数対応やマリンツーリズムの漁師さんたちが忙しい場合の急な対応が難しい状況である。町の観光にとって機会損失にならないよう、早急に取り組んでもらいたい。許可取得はいつ頃をめどに行う考えか。

**武藤水産商工課長** 30年度中には申請したい。



今後の活用が期待される海童丸

田老賢也 議員  
(政和会)

# 浜川目地区防潮堤の復旧は

## 6月から築造工事を行う



佐藤克典議員  
(政和会)

**問** 震災から7年目を迎えるようになっているが、浜川目地区の排水処理施設付近から西側数百メートルの防潮堤が被災したままの状態、いまだ復旧の兆しが無い。地域住民はこのまま置き去りにされるのではないかと懸念している。今後、復旧の計画はあるのか。また、町内にこのような被災箇所が他にもあるのか併せて伺う。

**答** 28年第3回定例会において遊休農地解消のため田名部地区の小規模ほ場整備の実施について質問したが、その後の町の動きはどうなっているのか。また、野菜について新品種の導入や収穫時期を調整するなどして所得向上につなげたいとのことだが、どの品種の導入計画か。収穫時期の調整の具体は。

**町長** 現在、農地の集積についてのアンケートと併せ、土地所有者からほ場整備事業についての意向を確認し総合的に検討

**田名部地区**  
**ほ場整備のその後の動きは**

旧工事は全て発注済みであり、作業工程上、部分的に解体していない防潮堤はあるが、倒壊したままの状態である。防潮堤はまの状態で残る防潮堤はない。

### 意向を確認し総合的に検討

**問** 三陸沿岸道路山田北インターの「フルインター化」は町民、特に豊間根地区住民や豊間根地区で働いている宮古市民にとって悲願である。実現のため宮古市と連携し、国に働きかけるとのことだが、どのような形

**町長** 山田町三陸沿岸道路推進室と宮古市復興道路推進室が連携を図りながら、岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会などとともに実現に向けて要望していく。

### 山田北インター フルインター化への要望は

### 関係団体と連携し要望

- その他の質問
- ◆ 移住定住支援は
  - ◆ 町営住宅の指定管理者の職務は
  - ◆ コミュニティ・スクールの内容は



ほ場整備事業の実施で遊休農地解消を

# 豊間根駅付近にトイレを

## 地域の課題として捉えている



尾形英明 議員  
( 新 生 会 )

**問** 豊間根駅舎付近に公衆用トイレの設置を望む。その理由としては、付近にスーパーやコンビニがないため一般客がトイレを探している状況である。移管協力金を利用しての設置を望むが町の考えは。

**佐藤町長**

移管協力金の

使途は決まっております、その中で利用促進費としての配分があるが、駅舎整備費の一部に充当することなどから、公衆用トイレへの充当は出来かねる。公衆用トイレの設置は、地域の課題として捉えている。

### フルインター化に向けた取り組みは

#### 関係団体と連携し要望

**問** 30年度、宮古市と連携しながら、国に対して働きかけると言っているが、どのような対策や取り組みなどを考えているか。

**町長**

山田町三陸沿岸道

路推進室と宮古市復興道路推進室が連携し、岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会などとともに要望活動を進めていく。

### 排水路整備事業の進捗は

#### 計画を変更し着手

**問** 豊間根地区の排水路整備計画は八千代地区から勝山地区にかけての計画と思うが、30年度の勝山地区の工事着手は計画どおりなのか。

**町長** 地区住民説明会で

の意見を受け、国道を横断し豊間根川へ排水するルートと、荒川川へ排水するルートの2系統を整備する計画に変更し、着手する予定で考えている。

#### その他の質問

- ◆ 町道白山・船石線の歩道設置は
- ◆ 火災予防対策の消防水利の考え方は
- ◆ 応急仮設住宅集約化計画の見直しとは
- ◆ 外国語指導助手と学校支援員は十分か



山田北インターの早期フル化を望む

# 織笠・外山線の整備計画は

## 検討を進めたい



議員 坂本正  
(新 生 会)

**問** 各種道路整備については計画どおりに順調に進んでいるようだが、これまで整備した道路などにおいて、不都合な部分はなかったのか。

また、町道織笠・外山線、町道織笠・新田線、草木地区の道路は今後どのように整備する計画なのか。

**佐藤町長** 整備した道路などの不都合な部分については、整備完了後、周辺の宅地整備に伴い、大型車両が頻繁に通行していることから、八幡地区の区画道路にゆがみが生じている箇所が見受けられる。

町道織笠・外山線の整備計画については、現時点で計画はないが、バス路線として重要な路線で

あると認識しており、幅員が狭く通行に支障を来している箇所については、検討を進めていきたいと考えている。

町道織笠・新田線の整備計画については、織笠川堤防右岸側の道路区間が大雨のたびに冠水する状況にあることから、改良に向けた検討を進めていきたいと考えている。草木地区の三陸沿岸道路側道の整備は、現在、道路のかさ上げと舗装工事を行っているところである。

**問** 織笠・外山線について大変危ない道路と認識していないのか。

**町長** 見通しが悪い箇所や降雪時の危険性などを認識しているが、事業費などのこともあり、検討させてほしい。

**問** できる方向で検討してほしい。

震災以降、新田地区の道路は手つかずの状況だかどうか。できない理由ではなく、できる方向で話をしてほしい。以前は農免道路と併せて整備をする予定であったが、農免道路が完成して

も整備されていない。今後どうするのか。

**川守田建設課長** 織笠・新田線については大雨のたびに冠水し、通行止めなどを行っている。一度、排水路整備をしたが、機能していない状況である。既存の民家への影響

を慎重に考えながら、道路のかさ上げなどの改良を進めていきたい。

**問** 町民の安心、安全を優先的に考えなければならぬが、この件に関してはまったく前に進んでいない。早急に対応してほしい。また、昨年、草

木地区の道路が冠水し半日ほど通れないことがあった。今後起こると思うがどう対応するのか。

**建設課長** 道路に水が溜まらないよう横断側溝を3カ所程度つけ、排水できるように考えている。



改良が望まれる町道織笠・外山線



# 紳士協定の制定を

## 各自治体の動向を注視

**問** 原子力発電環境整備機構は、放射性廃棄物の最終処分場を探している。万が一、事故があれば広範囲に被害が及ぶことから本町のみならず近隣への誘致はあってはならない。そこで「広範囲に汚染や被害の可能性のある施設誘致において近隣市町村に配慮する条例（紳士協定）を制定すべきと考える。

その内容は「①施設誘致においては近隣市町村の同意を得なければならぬ。②施設の稼働に関する「科学的特性マップ」を公表した際、岩手県知事は「県として最終処分施設を受け入れる考えはない」との方針を表明し

同様の条例を近隣市町村にも制定してもらう必要があるが見解を問う。  
**佐藤町長** 昨年7月に、国が高レベル放射性廃棄物の最終処分候補地に関する「科学的特性マップ」

する施設側との条件提示および交渉において、近隣市町村にも同様の権利を与え、交渉に参加させなければならぬ。こととする。

## 津波記念碑の建設場所は

### 御蔵山に建設予定

**問** 津波記念碑を建設する考えのようだが、場所はどこか。また、亡くなられた方全員の名前を刻むべきと考えるがどうか。

**町長** 建設場所は御蔵山を予定している。建立位置などについては、これから検討を進めるが、鎮魂・追悼の思いを込め、震災から学んだ教訓を後世に伝える場になるよう公園整備と調整を図り進

めている。施設誘致における条例の制定については、県および県内各自治体の今後の動向を注視していく。

**問** 山谷の総合運動公園に人工芝のラグビー・サッカー場が整備され、今後の利用促進が期待される。一般町民へのお披露目も兼ねて町民体育祭を開催してはどうか。

**町長** 町民体育祭は町内各地区代表で組織された

### 現時点では難しい

実行委員会において、各地区の参加有無を確認し、開催の可否を決定している。各地区コミュニティの再構築は、これからと認識しており、現時点では開催は難しいと思う。

## 町民体育祭の開催を



人工芝が新設された町民総合運動公園ラグビー・サッカー場

黒 沢 一 成 議 員  
( 無 所 属 )

**町長** 避難誘導看板の整備に併せて設置したいと考えている。場所などについては今後の復興状況を見つつ検討していく。

**町長** 避難誘導看板の整備に併せて設置したいと考えている。場所などについては今後の復興状況を見つつ検討していく。

その他の質問

- ◆ 漁業体験者の居住のため仮設を残しては
- ◆ 仮設退去者に備品譲渡を

# 健康増進センター補修は

## 改修が必要であると認識



菊地光明議員  
(新 生 会)

**問** 各種集会所について長寿命化を図るようだが、同じように体育館をはじめとするスポーツ施設はどうか。特に高規格道路から見える桜野地区の健康増進センターの屋根のさび付きが目立つ。補修してはどうか。

また、被災した大沢、山田、織笠、船越地区の集会所の再建について詳しく示せ。

被災しなかった織笠の集会所も被災した集会所と同様の再建方法か。

**佐藤町長** 集会施設と同様に体育館をはじめとするスポーツ施設については、適正な管理に努め、長寿命化を図っていく。

桜野地区の健康増進センターについては、改修が必要であると認識して



補修が必要な健康増進センターの屋根

いるが、事業費が多額になると予想されることから、十分な検討が必要であると考えている。

被災した大沢、山田、織笠、船越地区の集会所の再建については、下条地区に108平方メートル、浜川目地区に64平方メートル、長崎地区に2

40平方メートル、織笠第1団地に451平方メートル、船越第5団地に64平方メートルの集会所の再建を計画している。

織笠コミュニティセンターは被災していないが、織笠第1団地の整備に伴い解体している。既に

存宅地住民の一体的なコミュニティ活動の中心となる施設として整備すること、他の被災した集会所と同様に復興交付金を活用した再建を進めることとしている。

については、高規格道路から最初に見える町の施設であり、早急に直す考えはないか。

**川口農林課長** 復興道路からも下の道路から見える状況であり前向きに検討したい。

### アワビ・ナマコ種苗

### 放流事業の継続は

### 効果を検証した上で検討

**問** アワビ、ナマコの種苗放流事業の継続は大変良いことであるが、効果調査をしているのか。また、調査内容により将来計画すべき問題は何か。

**町長** 漁獲されたアワビのうち、放流貝が占める割合を調査する混獲調査

を実施している。混獲率は28年度から増加に転じており、種苗放流の一定の効果はあるものと認識している。種苗放流事業は27年度から31年度まで5年間を計画しているが、放流効果を検証した上で事業の継続を検討していきたい。

#### その他の質問

- ◆ 新規就業者への助成は
- ◆ 漁具等倉庫復旧支援事業の内容は

## 団体との

## 意見交換会を開催

### 開催状況

日時	30年2月2日（金）午後2時～	
場所	三陸やまだ漁業協同組合 会議室	
出席者	団体	生駒組合長ほか12人
	議会	昆議長ほか11人

### 課題

- ① 漁業者の高齢化による組合員数の減少に対し、後継者育成および新規就業者を確保する
- ② 漁業者収入安定に向け、作業環境を整え安心安全な品質の出荷に努め、消費者の信頼獲得による売り上げ増を目指す
- ③ 漁協経営の健全化に向け、経費削減について現状をさらに検証し繰越欠損金の早期解消を図る
- ④ 地区ごとに漁業環境の格差が生じていることから、各地区漁業者の意向を十分に把握しながら漁場の有効活用を努める



水産業の発展のために  
(三陸やまだ漁協会議室)

団体が抱える課題を共有し、町への政策提言につなげることを目的とした、団体との意見交換会を開催しました。

今回は、三陸やまだ漁業協同組合と「本町における水産業の現状と課題について」というテーマで開催した内容をお伝えします。

## ふるさと納税で町の活性化を

### 東部町村議会議長会議員研修会

2月26日、国民宿舎くろさき荘（普代村）において、本町議会、大槌町議会、岩泉町議会、田野畑村議会、普代村議会で構成される東部町村議会議長会（会長 中村裕普 代村議会議長）の議員研修会が開催されました。

講師に株式会社トラス「ふるさと納税」の代表者が登壇し、「ふるさと納税の現状と今後」というテーマで研修を行いました。

「ふるさと納税」と、その使い方・あり方を正しく理解することで、人口流出や産業基盤の再生などの地域または共通の課題解決に活用できるようになり、それら課題解決の促進につながることを学びました。



ふるさと納税は地域の課題解決にも生かされます



長崎地区在住の山崎さん家族

左から  
 奈津美(なつみ)さん(28歳)  
 彩楽(さら)ちゃん(2歳・次女)  
 栄奈(えな)ちゃん(6歳・長女)  
 裕也(ゆうや)さん(38歳)  
 結渡(ゆいと)くん(8歳・長男)

「町政に望むところは」

町民のための施策はもちろんだが、国・県の中で山田町としてどのような機能・役割を果たすべきか、どうあれば良いかも検討していただきたい。

「町議会に期待するものは」

「知人だけが町民なのか」と思わせるような議論は不要。道路の穴も大事だが、20年、30年先を見据えたランドデザインの議論を。

「子育て支援で望むことは」

さまざまな費用の負担はあり

6月定例会は6月12日に開会予定です。  
 お気軽にお越しください。

「活躍する若者をどうやって町に残すか」が先。小中教育で町の魅力を子どもたちに伝えることも必要。特に一次産業のイメージアップにつながる体験型教育は一考の価値があるので

「若者が活躍できる町づくりは」

「活躍する若者をどうやって町に残すか」が先。小中教育で町の魅力を子どもたちに伝えることも必要。特に一次産業のイメージアップにつながる体験型教育は一考の価値があるので

5月22日(火)～24日(木)

「町民と議会の意見交換会」を開催します

山田町議会では町民に開かれた議会を目指し、町民の皆さまへ議会活動の状況や町政に関する情報を提供し、本町議会への意見や町政への提言をいただくため「町民と議会の意見交換会」を開催します。

5月22日～24日の日程、町内6会場で開催しますので、ぜひお気軽にお近くの会場にお越しください。

◆報告内容 主な議案の審議経過、30年度予算についてなど

日程	5月22日(火) 15時～17時	5月23日(水) 15時～17時	5月24日(木) 15時～17時
1班	船越防災センター	まちなか交流センター	大沢ふるさとセンター
2班	大浦漁村センター	織笠コミュニティセンター	豊間根生活改善センター

※議会だより(159号)を持参ください。

1班	山崎泰昌 関清貴	黒沢一成 田老賢也	吉川淑子 菊地光明	2班	尾形英明 阿部吉衛	佐藤克典 阿部幸一	坂本 正 木村洋子
----	-------------	--------------	--------------	----	--------------	--------------	--------------

あ  
と  
が  
き

▼今冬の寒さは大変厳しく、節分の頃は、連日気温がマイナス10度以下になった地域もあり、生命の危険さえ感じました。その寒さを吹き飛ばすような熱戦が平昌で繰り広げられました。冬季オリンピック・パラリンピックのアスリートたちの頑張りに目頭を熱くしながらテレビ観戦が楽しみでした。幾多の困難を乗り越え果敢に挑戦する姿に改めてスポーツの素晴らしさを感じました。▼山田町出身の阿部友里香選手を次のパラリンピックでも見たいし、夢を諦めず頑張る姿をずっと応援していきたいです。▼私たち議員の任期は残り約1年半となり、町民の皆さんから熱く応援していただけるよう頑張りますので、お気軽に声を掛けていただければ幸いです。(木村)

◆発行責任者

議長 毘

◆議会広報編集特別委員会

委員長 吉川 淑子  
 副委員長 佐藤 克典  
 委員 山崎 泰昌  
 委員 関 清貴  
 委員 黒沢 一成  
 委員 田老 賢也  
 委員 吉川 淑子  
 委員 菊地 光明  
 委員 尾形 英明  
 委員 阿部 吉衛  
 委員 佐藤 克典  
 委員 阿部 幸一  
 委員 坂本 正  
 委員 木村 洋子